

「電子図書館(Tulips)からリポジトリ (Tulips-R) へ ～筑波大学の事例～」

筑波大学附属図書館情報管理課  
専門職員 大澤類里佐  
rulisa@tulips.tsukuba.ac.jp

1. 筑波大学、筑波大学附属図書館の紹介

- 1973年10月 開学  
2002年10月 図書館情報大学と統合  
2004年4月 国立大学法人化  
9学群・7研究科の総合大学。教員:1,800人 学群学生:16,800人(内、大学院生:6,800人)

附属図書館

中央図書館と4つの専門図書館(体育・芸術、医学、図書館情報学、大塚)  
蔵書:2,522,585冊 所蔵雑誌:28,962タイトル  
アクセス可能電子ジャーナル:約22,000タイトル  
職員数:61人  
★集中管理と全面開架

2. 筑波大学電子図書館について

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

1998年1月 電子図書館システム導入

**I**sukuba **U**niversity **L**ibrary **d**igitized **I**nformation **P**ublic **S**ervice

収集・所蔵資料の電子化を開始

・貴重書

・学内生産資料: ①研究成果報告書、②博士論文、③学内紀要、④学事報告書

★OPACの検索結果から直接、全文を表示。

2002年、2006年 システム更新

**I**sukuba **U**niversity **L**ibrary **I**nformation **P**ublic **S**ervice

2010年3月 システム更新

★次世代 OPAC

・統合インターフェイス: 所蔵資料+つくばリポジトリのコンテンツ

・本文データがあるもの: 検索結果表示からワンクリックでPDF表示

### 3. つくばリポジトリと電子図書館システム

#### (1) 2006年3月 つくばリポジトリ公開

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/dspace/>

電子図書館システムの更新と併せて、電子図書館の一部としてスタート。

使用システム: Dspace (現在 ver.1.5.2)

#### (2) つくばリポジトリのコンテンツ

コンテンツ数 23,853 件 (10月末現在)

種別	件数
学術雑誌掲載論文	2,851
学位論文(博士)	1,677
学位論文要旨	6,010
紀要論文	12,044
研究報告	1,020
会議発表資料	168
講義資料	8
研究業績目録	23
図書	30
その他	22

・電子図書館の蓄積をもとに構築(貴重書は含まない)。

・中核は学内紀要論文、博士学位論文

・2006年～ 学術雑誌掲載論文収集開始

#### (3) 電子図書館システムとの連携

次世代 OPAC により、一括検索・表示が可能に。

電子図書館システムからメタデータ、本文ファイルを自動転送

・メリット: 目録データをメタデータとして活用できる

・デメリット: 本文へのアクセス数・ダウンロード数がカウントできない。

増加するオープンデジタルのコンテンツに対応しきれていない。

### 4. つくばリポジトリの運用の実際

#### (1) 広報

・学長インタビュー、教員訪問、教員会議

・新任教員オリエンテーション

・ロゴ(Tulips-R)、キャラクターの設定(ちゅーりっぷさん & がまじゃんぱー)

・パンフレットの作成(リポジトリ全般、紀要の電子化、博士論文)

・アクセス統計メール配信(学術雑誌論文提供者対象)

・新着情報の RSS 配信

## (2) 収集

- ・Web of Science 週次調査(2007年度から) → メールで掲載依頼
- ・著者からの提供 → メール添付、アップローダー
- ・会議発表資料の保存・公開

### ★つくば 3E フォーラム(第1回～)

※筑波研究学園都市の連携共同研究開発事業である「つくばエコシティー構想」に基づき開催されるフォーラム。筑波大学、産業技術総合研究所、国立環境研究所、物質・材料研究 機構、農業・食品産業技術総合研究機構、茨城県、つくば市が参加。

### ★2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)

- ・筑波大学出版会と協定 → 全点の登録が可能に。

## (3) 著作権処理

### ★個人の「業績」 >>> 「業務著作」

- ・図書館から依頼:

事前調査を行い、リポジトリ登録を認めている雑誌に掲載された論文のみ、出版社版または著者最終稿の提供を依頼。

- ・著者から提供:

著者に権利関係を確認。図書館から学会・出版社へ照会。

## (4) 加工・公開

- ・スキャン(冊子の場合)→PDF化(印刷・コピーは許可するが編集は許可しない)
- ・DSpace へアップロード、メタデータ付与
- ・JAIRO ハーヴェスト(週1回) → CiNii 転送
  - ※JAIRO(学術機関リポジトリポータル):横断検索サービス(国立情報学研究所提供)
  - ※CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)
- ・Google Scholar のクロール対応

## 5. リポジトリ関連事業

- (1) 学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ)データベース <http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>  
国立情報学研究所最先端学術情報基盤(CSI: Cyber Science Infrastructure)委託事業  
「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト」(筑波大学・千葉大学・神戸大学・東京工業大学)
  - ・学協会のオープンアクセスに関する方針(OA 方針)について調査
  - ・「学協会著作権ポリシーデータベース」(SCPJ データベース)を作成・公開
  - ・2,179 学会(10 月末現在)のポリシーを公開中
  - ・英国 SHERPA/RoMEO <http://www.sherpa.ac.uk/romeo/>

(2) つくば WAN サイエンスリポジトリ <http://twsr.tulips.tsukuba.ac.jp/>

・インターネット上に「仮想の筑波研究学園都市」を構築する試み。

・つくばシャーレ

科学実験を模したインターフェイス。筑波研究学園都市の研究成果を楽しみながら検索。

検索対象:

・研究情報関連データベース約 2,000 件

筑波研究学園都市の研究機関が WWW 上に公開中のもの。

つくば WAN 提供。つくば知的資源サイバーモール収録データを利用。

<http://tkr.tsukuba-wan.ne.jp/index.cgi/both>

・日本の学術機関リポジトリに収録されているコンテンツ約 100 万件

JAIRO (学術機関リポジトリポータル) を検索

(3) その他

・CSI 事業 (連携)

・全国遺跡リポジトリ資料プロジェクト (島根大学)

・文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発 (九州大学・一橋大学)

・その他

・学位論文 (博士) のデジタル化実施に係る著作権処理 (国立国会図書館)

## 6. 今後の課題

(1) 学内生産資料の効率的な収集

(2) 研究者によるセルフ・アーカイビング

(3) 研究業績システム・評価システムとの連携

以上